

平成25年度 阿賀野市道徳・特別活動部 活動報告

部長 石塚 繁（水原小）

1 研究主題

「豊かな心を育て、実践力を高める道徳の指導」

※数年来「道徳・特別活動部」として、研修を進めてきた。今年度も昨年度と同様、「道徳」に重点を置き、道徳の授業について研修を深めることにした。

2 研究の概要

- (1) 4月23日（火） 組織の構成、役割分担、事業計画の作成
- (2) 6月11日（火） 講演会
- (3) 11月26日（火） 研究授業公開、協議会

3 研究の実際

- (1) 講演会 6月11日（火） 会場 水原小学校
演題 「道徳的実践力を育てる道徳の時間の工夫」
講師 阿賀野市立水原小学校 教頭 土田 暢也 様

〈講演内容〉

- ・児童の実態に応じて、資料の扱い方を工夫する。時にはゲストティーチャーを招き、実体験をもとにして、道徳的価値に迫ることもある。
- ・道徳は内面を育てる教科である。役割演技等を活用して、登場人物の心情を体感し、本音が言える環境作りに努めることも重要である。
- ・道徳の時間だけで、ねらいとする価値が身に付く訳ではない。道徳的実践力を育てさらに高めるためには、道徳の授業を中核にして他教科とのつながりをもつような指導過程が大切である。

- (2) 研究授業公開・協議会 11月27日（火） 会場 水原小学校

題材名 6学年「生命の大切さ」

資料 「おい、どこいくんや」（生命尊重、思いやり・親切）

授業者 阿賀野市立水原小学校 教諭 山際 卓也

指導者 阿賀野市立水原小学校 教頭 土田 暢也 様

〈協議と指導〉

モラルジレンマ資料を扱い、AまたはBのどちらかを選び、その根拠を話し合う授業であった。登場人物の葛藤場面で、周囲の状況ではっきりしていない部分があるため、A、Bのどちらを選択しても間違いではない。大切なことは、なぜそう考えたかの理由である。道徳的価値を高めるためには、児童一人一人の考えを見取り、その考えを広げることが有効である。



4 成果と課題

初めに、講演会で道徳的価値に応じた資料の意義や扱い方などについての研修を実施した。次に、その講演会で研修した内容を生かし、授業を通して実践し、研修を深めてきた。限られた日程の中で、充実した研修を進めることができた。今後の道徳指導にも生かしていきたい。